R6.4.1 更新 ver.　旭川市立近文小学校

令和６年度　学校経営グランドデザイン　～みんなのウェルビーイングの実現へ～

令和６年４月

●日本国憲法　●教育基本法
●学校教育法　●その他の関係法令

★「これから」の教育
〔○○観の転換〕×〔これまでの教育実践〕
～「流行」と「不易」のベストミックス～

★学校力向上総合実践事業指定校
〔授業改革＆働き方改革〕×ICT
～先進事例をキャッチ-アレンジ-共有～

学校の教育目標　**夢を描き 未来を拓く 子ども**　令和３年３月25日改定

重点教育目標　**自ら学び 他者と協働する 子どもの育成**

合い言葉　感じて動く 考えて動く

★近文っ子の実態（R5学校評価）
○思いやり　○協力して課題解決
○ICT 活用　○体力づくり
△基礎的-基本的な知識-技能
△自ら問いを見付け解決
△規範意識　△学習-生活習慣

★教育環境の整備-充実
財政的-物的資源の効果的活用

●OECD 教育 2030ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（2015 年）
◆3 つのコンピテンシー
・新たな価値を創造する力　〔創造〕
・対立やジレンマを克服する力〔尊重〕
・責任ある行動をとる力　〔自律〕

●現行学習指導要領(2017 年)

経済社会の変化

VUCA の時代（不安定、不確実、複雑、曖昧）
●「学校の働き方改革」中教審答申（2019 年）
●GIGA スクール構想(2019 年)
●「令和の日本型学校教育」中教審答申（2021 年）
●デジタル庁設置（2021 年）
●1 人 1 台端末整備(2021 年)
●CSTI「政策パッケージ」(2022 年)
●こども基本法（2023 年）
●こども家庭庁設置（2023 年）
●新たな教育振興基本計画（2023-2027 年）
◆計画のコンセプト
・2040 年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞの向上
●北海道教育推進計画（2023-2027 年）
◆基本理念　◆22 の施策
「自立」「共生」／・SDGs-EDS の推進等
●上川まなびのフォーカス
～伸ばす・守る・支える～
●旭川市いじめ防止条例（2023 年）
●旭川市いじめ防止基本方針
●旭川市教育基本計画
ふるさと旭川から未来へはばたく子どもの育成
・自ら考え、仲間とともに学ぶ子ども
・自分と仲間を愛し、心豊かな子ども
・心身ともにしなやかでたくましい子ども
●小中連携「北門中学校区の中期目標」
自ら学ぶ意欲を身に付けた子どもの育成

●重点目標を実現する教育活動・取組　◆見方
★数値目標：R5 学校評価結果＋0.1P 前へ
□キーワード、具体的な取組

目指す姿	学校像	子ども像	授業像	教職員像
	○「これから」の教育を大切にする学校 ○子どもを主語にし、心理的な安全を確保する学校 ○教育力を結集-分担し、質の高い教育を保障する学校 ○保護者・地域から信頼される学校	○未来を見据え、必要な資質-能力を粘り強く身に付ける子 ◎自分で考え、判断し、行動する子 ◎多様な他者を尊重し、より良い考えを生み出す子 ○時と場に応じた挨拶-言葉遣い-行動を大切にする子	◎子どもが自ら見通しを立て、進んで考える授業 ◎対話を通して自己を高める授業 ○学びの成果を振り返り、次への意欲を高める授業 ○「わかる-できる喜び」がある授業 ○学び方を身に付ける授業	◎授業で必要な資質-能力を確実に育む教師 ◎ﾌｧｼﾘﾃｰﾃｰﾀｰとして子ども一人一人の可能性を引き出す教師 ◎学校の課題を適切に把握する教職員 ◎強みを生かし、支え合い、切磋琢磨する教職員 ○自ら問いを立て、多様な課題に応用力を発揮する教職員

●変化にしなやかに対応する「分掌組織」
□様々な教職員によるリーダーシップ
□対話　□合意形成　□自立-自走

教育 DX（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）の推進～授業の手法と教職員の業務を変革～

●子どものロールモデルとして主体的に学ぶ「教職員研修」
★組織的・計画的な研修 3.9P
□全体研修〔授業研究-ICT 活用ミニ研修等〕
□グループ研修〔学年-メンター研修等〕
□ニーズに応じた研修〔今日的な課題から〕
□自己研修〔受講奨励-自己目標ｼｰﾄ等から〕

●「いじめ」の未然防止-早期発見-早期対応
★いじめを許さない 100%【いじめｱﾝｹｰﾄ】
□思いやりの心と人権尊重の意識の醸成
□誰かの役に立っている実感がわく活躍の場
□道徳科を要とした道徳教育　□いじめ防止教室　□ふれあい活動(「いじめ見逃しゼロ」)
□旭川市いじめ防止条例の主体的な理解
□児童による主体的ないじめ防止の取組
□機動的な対策組織（迅速かつ適切な対処）

●人として生き方の考えを深める「道徳教育」
★道徳性の醸成 3.6P□重点:善悪の判断、自主自律自由と責任/節度、節制/相互理解、寛容/規則の尊重
□広い視野から多面的-多角的に考える
□自他を尊重する態度を育む人権教育
□よい点と成長の状況の積極的な評価
□複数教師や学年合同による効果的な指導

●問題解決を通して生き方を考える「そうごう」
★協力して課題解決 3.6P
□探究的な学習と体験活動の質の向上
□知識-情報を自ら関連付ける学び
□SDGs-EDS（持続可能/多様性尊重-共生社会）

◎主体的-対話的で深い学びを実現する「授業改善」
～個別最適な学び＆協働的な学びの一体的な充実～
★自ら学ぶ 3.4P　★協力して課題解決 3.5P
★基礎-基本の定着 3.5P　★効果的な ICT 活用 3.7P
□身に付けさせたい力を明確にした単元づくり
〔評価規準、つまずきの把握-支援策、子ども主体〕
□「ねらい」～「まとめ-振り返り」までの１単位時間のﾃﾞｻﾞｲﾝ〔ﾀｲﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、適切な学習活動〕
□一人一人の子どもの学びを深める工夫
〔これまでの実践と ICT とのﾍﾞｽﾄﾐｯｸｽの追究、情報活用能力、他者との質の高い学び合い、学び方〕
□落ち着いて学ぶ環境づくり
〔間違いは宝、頼り合える学級、学びの場に応じた言動の切り替え、学習規律「がんばる５」〕
□教員の持ち味を生かす学びの体制づくり
〔教科担任制（専科指導-授業交換）、習熟度に応じた少人数指導、TT、学年合同、異学年合同〕

●将来必要な資質・能力を育む「教育課程」
★不断の検証改善 3.6
□定期的な授業時数の管理　□記録の累積と更新
〈視点〉①学ぶ意欲(授業評価)②単元テスト③全国学調④「目指す授業像」⑤ｶﾘｷｭﾗﾏﾈ(教科等横断的等)

●自ら心身の健康を高める「健康教育-食育」
★健康的な生活 3.7P　★食を大切にする心 3.6P
□自他の生命尊重の心を育む保健指導□心身の健康を育む健康相談 □安全-安心な給食 □食に関する指導 □養教と栄教連携による個別的な相談指導

●自己指導能力を高める「生徒指導」
★規範意識の醸成 3.5P　★自律する力 3.5P
□子ども理解□自己実現□OODA ループによる予防的生徒指導□情報共有□挨拶-言葉遣い-話をしっかり聞く□規範意識 □ﾈｯﾄﾄﾗﾌﾞﾙ/薬乱防止

◎よりよい人間関係を育む「学級経営」
★よりよい人間関係 3.6P　★自律する力 3.5P
□実態把握 □安全・安心な風土□自己存在感 □共感的人間関係 □自己決定の場 □生活習慣 □係活動

●自発的-自治的な力を高め、自信を獲得する「児童会活動」-「行事」-「クラブ活動」
★自律する力 3.5P
□子どもが運営する児童会活動　□子どもの創意を生かす運動会-学芸会-クラブ-異年齢交流

●社会的-職業的自立の基盤となる「ｷｬﾘｱ教育」
★目標へ向けた努力 3.6P
□①他者とつながる②自分を認め、磨く③課題を発見-解決する④自らが歩むｷｬﾘｱを決める
□ｷｬﾘｱ-ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ　□成長の振り返り（全教科）

●人生を豊かにする「読書指導」
★読書活動の充実 3.3P
□学校図書館及び電子図書館等の利活用（授業-司書教諭-学校司書-図書委員会の創意工夫）

●家庭との連携による「望ましい習慣づくり」
★家庭学習(学年×10＋10)分以上 2.6P
□自主学習と宿題のねらいの明確化□生活ﾘｽﾞﾑﾊｯｽﾙｼｰﾄ□「ｽﾗｲﾄﾞ 30」□早寝-早起き-朝ご飯

◎教育的ﾆｰｽﾞに応じた「特別支援教育」
★個別の指導計画作成と全校体制 3.7P
□個別の教育支援計画を活用した切れ目のない支援(幼保-小-中) □現状把握
□個別の指導計画　□適切な学びの場(ｻﾄﾞﾌﾟﾚｲｽ、体験的居場所、弾力的な措置変更）□合理的配慮□特支委員会の機能化
□ﾁｰﾑ支援（医療-特支学校-福祉等）

◎組織的-計画的な「不登校児童」への支援
★認め合い 3.5P
□安心感と充実感を得る教育活動□子ども主体の絆づくり□ﾁｰﾑで兆しを見逃さない□「児童理解-支援ｼｰﾄ」（短-中期）
□ｻｰﾄﾞﾌﾟﾚｲｽ□ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ□ゆっくらす

●子ども自らの危険予測-危機対応力を育む「安全・安心な教育環境」
★安全教育の充実 3.6P
□安全指導(きまりの遵守等)□交通安全教室 □避難訓練 □情報モラル教室□自然災害-ﾐｻｲﾙ等緊急時の対応フロー□マチコミ
□事例を自分事にした研修 -安全計画更新

●学校改善に資する短期ｽﾊﾟﾝの「学校評価」
★保護者・地域との情報共有 3.8P
□学校 HP-学級通信等□保護者-地域からの日常的な情報収集□OODA ループ
□自己評価及び学校関係者評価（年２回）□保護者ｱﾝｹｰﾄへの回答と改善着手

●自ら運動に親しむ「体育-保健体育」
★体力・運動能力向上への努力 3.7P
★敏捷性-瞬発力-持久力【体力テスト】
□全員参加の楽しい体育(運動量×ICT) □外遊び
□ﾏﾗｿﾝ記録会 □なわとびﾁｬﾚﾝｼﾞ週間 □安全-安心

●社会とつながる「地域との協働的な学び」
～地域への愛着を育むふるさと教育の視点～
★地域連携 3.8P　★幼保中連携 3.7P
□C.S.学校運営協議会　□「カタコト」
□「あい運動に感謝する会」
□地域の自然-歴史-文化-施設等の見学調査（商店-企業-近文清掃工場-アイヌ民族音楽会-博物館-旭山動物園 ほか）　□陶芸教室
□租税教室□学校模擬選挙□私の未来ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
□幼保小中間の見学交流＆1 日体験入学

●教育の質の向上を図る「働き方改革」
★時間外在校等時間 45ｈ以下/1 か月
★教育に専念できる環境 3.7P
□①ｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞを自分事に②対話を通した支え合い③教育をバランスよく分担　□推進ﾁｰﾑ発案の効率的取組　□校務 DX(チャット会議等)

●教育公務員としての「教育的愛情と倫理観」
★コンプライアンスの確立 3.9P
★校内組織の機能化/教職員の協働 3.9P
□挨拶-言語環境-ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ(率先垂範)
□服務規律保持（道教委ﾘｰﾌﾚｯﾄを活用した研修、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ強調月間の取組）
□教育的愛情を持ち、学び続ける教職員集団